

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

「私たちのミッションは、ネットワークの力で子どもと親の『育ち』を応援すること。団体をネットワークすることで、可能性の扉をどんどん開いていきます」と語るのは、NPO 法人はちのへ未来ネットの代表理事 平間 恵美（ひらま えみ）さんです。7月13日（水）の当センターの研修会に講師として招聘しています。

○NPO 法人 はちのへ未来ネット についてはこちらから

<http://hachinohe-mirainet.com/>

NPO 法人はちのへ未来ネットは、平和な未来を子どもたちにバトンタッチするため、そして、学び合い、支え合う、みんなが集える場所を作っていくため、地域にネットワークを根付かせ、地域の見守りの中で、子どもたちが健やかに夢をもって幸せに暮らし育っていける、そんな社会を目指し活動しています。

【持続可能な循環する支援活動の実際】

- ★妊娠・乳幼児期（プレパパ・プレママ講座、子育てつどいの広場、親子サークル、季節の行事、文化体験活動）
- ★学齢期（小学生の居場所：はなまる寺子屋、放課後子ども教室、はちのへ子どもフェスタ）
- ★青年期（高校生の社会交流体験、ボランティア、職業体験）
- ★地域（パパママ支援、支援者の人材育成、地域サロン広場支援、母親在宅就労支援、不登校・ひきこもり相談）

このように、生まれる前から切れ目のない支援をしています。プレママ期に受けた支援が次のプレママ支援に、また、学齢期から青年期で居場所を得た子どもたちが大人になり、居場所を作る側になっていく…。支援者の後継者不足に悩む市町村も多い中、持続可能な循環する支援活動をされていると思います。7月13日の研修会は、子育てに興味のある方なら誰でも参加することができます。

○研修会の案内はこちらから

<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/youkou/040713/040713-c.pdf>

（※切を過ぎても受け付けできる場合がありますので、ご連絡ください）

6月29日付の朝日新聞に「子どもと住民 交流に影」という記事が載っていました。「統合による廃校後、地域が衰えていき、住民の交流も難しくなってきたが、子どもたちが地域を好きでいてくれるようにしようと工夫を凝らしている」という内容でした。どんな状況にあっても、地域の大人は、子どもたちに「未来をつなぐ」ために、日々頑張っているのだと思いました。

「家庭教育に地域を巻き込んで」「子どもは地域の宝」と昔から言われています。少子高齢化が進んできている今こそ、改めて昔から言われてきていることを意識していくときののではないかと改めて思いました。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★